

益田市文化財保存活用地域計画

令和元年 7 月

益 田 市

益田市教育委員会

はじめに

現在の益田市は、平成16（2004）年、旧益田市と美都町・匹見町の1市2町の合併により誕生し、島根県最大の面積を誇る自治体となりました。中国山地から日本海まで変化に富んだ、多様な地域を含む益田市は、地域それぞれに豊かな歴史と文化を育くんできました。

全国的な流れと同様に、益田市もまた過疎や少子高齢化といった困難に直面しており、これまで地域によって守られ、伝えられてきた歴史と文化の存続にも危機が迫っています。一方、この過疎という人口問題について、益田市はその発祥の地と言われ、過疎と向き合ってきた歴史と経験の蓄積があります。そのような歴史と経験の蓄積は、人口減少時代へと突入した日本全体にとっても、今後のあり方を示すものとして貴重なものであるといえます。

市民とともにすすめた把握調査によってあらためて確認された、古くは旧石器時代から現代に至る多様性に富んだ益田の歴史と文化を守り、後世に伝えていくために、益田市・益田市教育委員会は、平成31年2月に益田市の文化財保護に関するマスタープランとなる「益田市歴史文化基本構想」を策定しました。

同構想は、益田市の文化財保護の基本的方針を定め、文化財をその周辺環境も含めて総合的に保存・活用するための方針を示すものとなっていますが、これをさらに進めて、文化財を活かした地域づくりの計画として、「益田市文化財保存活用地域計画」をこのたび策定しました。

本市は、市政運営の基本指針として「ひとが育つまち益田」を掲げておりますが、「ひとが育つまち」である「益田」はどのような過去を持つ町なのか、現在どのような課題があり、どのような方針と施策で対応しようとしているのか、これを歴史と文化を中心に描いたのが益田市歴史文化基本構想であり、本計画です。今後、本計画を具体的に実施していくにあたり、関係皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、地元関係者をはじめ、益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会委員の皆様、文化庁、島根県教育委員会から、多大なご支援とご指導、ご助言を賜りましたことに対し、深く感謝申し上げます。

令和元年 7 月

益田市長

山本 浩章

益田市教育長

柳井 秀雄

例 言

1. 本計画は、益田市の、平成 30 年度の文化財保護法改正により制度化された市町村による文化財保存活用地域計画であり、益田市における文化財の保存・活用に関する基本的なアクションプランである。
2. 本計画策定事業は、平成30年度(2018)年度、益田市が文化遺産総合活用推進事業国庫補助金を受けて実施した。
3. 本計画は、文化庁地域文化創生本部広域文化観光・まちづくりグループ、島根県教育庁文化財課の指導・助言を得ながら、益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会での検討及び益田市歴史文化基本構想有識者懇話会からの意見に基づき、益田市・益田市教育委員会が策定した。
なお、本計画は、パブリックコメント等を通して市民からの意見を反映させたものである。
4. 本計画で使用した図面等の一部は、株式会社地域計画工房に作成を委託した。
5. 調査から策定に至るまで、文化財の所有者・管理者・各機関や文化財総合的把握調査員にご協力いただいた。記して感謝申し上げる。

目 次

はじめに

第1章 益田市文化財保存活用地域計画策定の概要	1
1 文化財保存活用地域計画策定に至る経緯	1
(1)益田市の歴史を活かしたまちづくりの原点	1
(2)文化財保存活用地域計画の策定の背景と目的	2
(3)益田市歴史文化基本構想の意義	4
2 歴史文化基本構想と文化財保存活用地域計画の位置づけ	7
(1)歴史文化基本構想と文化財保存活用地域計画の全体的な位置づけ	7
(2)上位計画	7
(3)関連計画等	8
3 歴史文化基本構想と文化財保存活用地域計画策定の体制と経過	11
(1)策定体制	11
(2)策定経過	13
4 歴史文化基本構想の構成と文化財保存活用地域計画の構成、作成の手順	17
5 計画期間	18
 第2章 益田市の概要	 19
1 自然・地理的環境	19
(1)位置・交通条件	19
(2)地勢及び地質	22
(3)植生	25
(4)気象	27
2 社会的環境	28
(1)人口	28
(2)入込観光客数の推移	31
(3)博物館・資料館及びその他文化施設等	32
(4)歴史・文化・芸能団体等	34
3 歴史的環境	37
(1)益田の黎明 — 旧石器・縄文時代 —	37
(2)稲作・定住と小首長の登場 — 弥生時代 —	38
(3)有力な首長の登場と古墳 — 古墳時代 —	39
(4)官衙・式内社と柿本人麿 — 古代(奈良・平安時代) —	40
(5)中世の益田と益田氏 — 平安末期・鎌倉・南北朝・戦国・安土桃山時代 —	41
(6)幕府領・浜田藩領・津和野藩領の境界の地 — 近世(江戸時代) —	42
(7)前近代の交通網の発展	43
(8)内陸水運と海運の発展	45
(9)近代化と過疎 — 近現代(明治・大正・昭和・平成) —	45
(10)益田市の歴史を活かしたまちづくり	46
(11)益田市の歴史的変遷	47

第3章 益田市の文化財の把握と歴史文化の特色----- 49

1 文化財把握の方針	49
(1)文化財の把握の対象	49
(2)文化財の総合的把握調査の手法	51
(3)文化財の調査結果の管理と活用の方針	53
2 歴史文化の現状と特色	54
(1)指定等文化財の現状	54
(2)文化遺産の把握状況	57
(3)益田市の歴史文化の特色	59

第4章 歴史文化の保存・活用の理念と基本方針----- 73

1 歴史文化の保存・活用の理念	73
2 歴史文化の保存・活用の基本方針	73
3 みんなで歴史文化を掘り起こし、価値と魅力を知り、共有する	75
(1)歴史文化の調査及び共有に関する課題	75
(2)歴史文化の調査及び共有に関する方針	75
4 みんなで歴史文化を守り、次の世代に伝える	77
(1)歴史文化の継承に関する課題	77
(2)歴史文化の継承に関する方針	78
5 みんなで歴史文化を活かし、さらに輝かせる	80
(1)歴史文化の活用に関する課題	80
(2)歴史文化の活用に関する方針	81

第5章 関連文化財群の設定と内容 ----- 83

1 関連文化財群の設定	83
(1)関連文化財群の考え方と設定方針	83
(2)益田市における関連文化財群の設定	84
2 関連文化財群の内容～ストーリーと構成要素～	85
(1)西中国山地・高津川・日本海が織りなす景観	85
(2)落葉広葉樹林に育まれた縄文のムラ・匹見	89
(3)大型古墳と台頭する有力者層の古墳	92
(4)千年の歴史を誇る都茂鉾山	95
(5)益田氏と雪舟がつくり上げた中世のまち益田	99
(6)日本海に漕ぎ出した益田の人々	103
(7)幕府領・津和野藩領・浜田藩領の境界の地	107
(8)柿本人麿の伝承と信仰	110
(9)自然に祈り、弔った人々	113
(10)人々の生活に息づく芸能	117
(11)山と川の恵み	121
(12)過疎に向き合い、ふるさとに生きる人々	125

第6章 歴史文化保存活用区域の設定と内容 ----- 129

1	歴史文化保存活用区域の設定の考え方	129
(1)	歴史文化保存活用区域を設定する目的と目標	129
(2)	歴史文化保存活用区域の設定方針と役割	130
(3)	歴史文化保存活用区域の設定	131
2	益田市文化財保存活用地域計画における歴史文化保存活用区域	133
(1)	中世益田歴史文化保存活用区域	133
(2)	柿本神社歴史文化保存活用区域	136
(3)	鉾山とまち並み歴史文化保存活用区域	138
(4)	縄文遺跡群歴史文化保存活用区域	140
(5)	高津川及び匹見川の文化的景観歴史文化保存活用区域	142
(6)	旧山陰道歴史文化保存活用区域	144

第7章 歴史文化の保存・活用の体制と措置 ----- 147

1	歴史文化の保存・活用の推進体制	147
(1)	市民参加と協働による歴史文化の保存・活用と管理運営の体制づくり	147
(2)	庁内連携体制の充実・強化	147
(3)	関係機関や自治体との連携	147
(4)	危機管理の体制づくり	147
(5)	情報の一元管理と発信・普及啓発の体制づくり	148
(6)	関係人口の活用	148
(7)	財源の確保	148
2	歴史文化の調査及び共有に関する措置	152
(1)	調査に関する措置	152
(2)	普及啓発に関する措置	154
3	歴史文化の継承に関する措置	156
(1)	修理及び整備に関する措置	156
(2)	防犯・防災対策及び災害発生時の対応に関する措置	158
(3)	継承の仕組みづくりに関する措置	160
4	歴史文化の活用(情報発信及び人材育成)に関する措置	161
(1)	情報発信に関する措置	161
(2)	人材育成に関する措置	163
5	歴史文化の活用(観光振興)に関する措置	164
(1)	周遊促進による滞在時間の延長と観光消費額の増加の取り組み	164
(2)	広域周遊ルートの整備	165
(3)	民間団体等との連携による活用に関する措置	168
6	歴史文化の活用(まちづくり)に関する措置	170
(1)	関連文化財群の活用に向けた取り組み	170
(2)	歴史文化保存活用区域の具体化に向けた取り組み	170
(3)	魅力ある地域づくりと活性化に向かた取り組み	170
7	保存活用(管理)計画作成の考え方	172
(1)	保存活用(管理)計画の目的	172
(2)	保存活用(管理)計画に定める事項	172

図表目次

図 1-1	平成の合併前の市域	2
図 1-2	歴史文化基本構想と文化財保存活用地域計画の位置付け	10
図 1-3	歴史文化基本構想と文化財保存活用地域計画の策定体制	11
図 1-4	歴史文化基本構想の構成と文化財保存活用地域計画の構成	17
図 2-1	益田市の位置(日本全域)	19
図 2-2	益田市の位置(中国地方)	19
図 2-3	益田市の交通条件	20
図 2-4	益田市文化財保存活用地域計画における地区・地域区分	21
図 2-5	益田市の地勢(地形など)	22
図 2-6	益田市の地質	24
図 2-7	益田市の植生	26
図 2-8	益田市の植生自然度	26
図 2-9	益田市の気象	27
図 2-10	益田市の人口の推移(国勢調査)	28
図 2-11	地域別益田市の人口(住民基本台帳〔平成 30 年 6 月末時点〕)	28
図 2-12	地域別人口の推移(国勢調査：大正 9(1920)年～平成 27(2015)と将来推計人口	29
図 2-13	益田市の人口の年齢構成の推移(年齢 3 区分：国勢調査)	30
図 2-14	地域別益田市の人口の年齢構成(年齢 3 区分：国勢調査)	30
図 2-15	益田市の入込観光客数の推移(観光入込客延べ数)	31
図 2-16	市町村別入込観光客数(観光入込客延べ数)の状況(平成 29 年)	31
図 2-17	益田市の博物館・資料館等	33
図 2-18	江戸時代中頃の幕府領・津和野藩領・浜田藩領の境界	43
図 2-19	近世の主要な往街道	44
図 2-20	益田市域の変遷 1	47
図 2-21	益田市域の変遷 2	48
図 3-1	益田市文化財保存活用地域計画における歴史文化の対象	49
図 3-2	文化財の体系図	50
図 3-3	文化遺産の総合的把握調査の手法	51
図 3-4	文化遺産の調査結果の管理・活用	53
図 3-5	益田市内の指定・登録文化財の分布～有形文化財(建造物)・史跡等	56
図 3-6	文化遺産の地域・地区別把握件数	58
図 3-7	文化遺産の地域別把握件数	58
図 3-8	文化遺産の種類(全体)	58
図 4-1	歴史文化の保存と活用の基本方針	74
図 5-1	関連文化財群の設定フロー	83
図 5-2	「西中国山地・高津川・日本海が織りなす景観」の代表的な資源	88
図 5-3	「落葉広葉樹林に育まれた縄文のムラ・匹見」の代表的な資源	91
図 5-4	「大型古墳と台頭する有力者層の古墳」の代表的な資源	94
図 5-5	「千年の歴史を誇る都茂鉱山」の代表的な資源	98

図 5-6	「益田氏と雪舟がつくり上げた中世のまち益田」の代表的な資源	102
図 5-7	「日本海に漕ぎ出した益田の人々」の代表的な資源	106
図 5-8	「幕府領・津和野藩領・浜田藩領の境界の地」の代表的な資源	109
図 5-9	「柿本人麿の伝承と信仰」の代表的な資源	112
図 5-10	「自然に祈り、弔った人々」の代表的な資源	116
図 5-11	「人々の生活に息づく芸能」の代表的な資源	120
図 5-12	「山と川の恵み」の代表的な資源	124
図 5-13	「過疎に向き合い、地域に生きる人々」の代表的な資源	127
図 6-1	歴史文化保存活用区域の設定	132
図 6-2	中世益田歴史文化保存活用区域の主な構成要素	135
図 6-3	柿本神社歴史文化保存活用区域の主な構成要素	137
図 6-4	鉱山とまち並み歴史文化保存活用区域の主な構成要素	139
図 6-5	縄文遺跡群歴史文化保存活用区域の主な構成要素	141
図 6-6	高津川及び匹見川の文化的景観歴史文化保存活用区域の主な構成要素	143
図 6-7	旧山陰道跡歴史文化保存活用区域の主な構成要素	145
図 7-1	文化財保存活用地域計画の推進体制	149
表 1-1	益田市歴史を活かしたまちづくり検討委員会	12
表 1-2	益田市歴史文化基本構想有識者懇話会	12
表 2-1	植生自然度の区分	25
表 2-2	益田市の博物館・資料館等	32
表 2-3	市内の神楽団体	34
表 2-4	加入団体一覧	35
表 2-5	構成団体一覧	36
表 3-1	益田市内の指定・登録文化財件数	55
表 3-2	文化財総合的把握調査カード件数	57
表 5-1	益田市における関連文化財群の設定	84
表 6-1	益田歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	134
表 6-2	柿本神社歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	136
表 6-3	鉱山とまち並み歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	138
表 6-4	縄文遺跡群歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	140
表 6-5	高津川及び匹見川の歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	142
表 6-6	旧山陰道歴史文化保存活用区域における文化遺産一覧	144
表 7-2	歴史文化の調査に関する事業	153
表 7-3	歴史文化の普及啓発に関する事業	155
表 7-4	文化遺産の修理、整備に関する事業	157
表 7-5	文化遺産の防犯・防犯対策及び災害発生時の対応に関する事業	159
表 7-6	歴史文化の継承の仕組みづくりに関する事業	160
表 7-7	歴史文化の情報発信に関する事業	162
表 7-8	歴史文化を活かせる人材育成に関する事業	163
表 7-9	周遊促進による滞在時間の延長と観光消費額の増加の取り組み	165
表 7-10	広域周遊ルート整備の取り組み	167
表 7-11	支援団体など民間と連携した取り組み	169

写真目次

写真 1-1	昭和 58 年水害時（益田地区）……………1
写真 1-2	都市計画道路沖田七尾線開通式（H14.3）……………1
写真 1-3	益田市・美都町・匹見町合併式典……………2
写真 1-4	匹見町閉町記念式典……………3
写真 1-5	歴食 JAPAN サミット in 益田……………4
写真 1-6	主な中世遺跡の位置……………5
写真 1-7	オリエンテーション……………13
写真 1-8	第 2 回会議開催状況……………13
写真 1-9	第 3 回会議開催状況……………14
写真 1-10	第 4 回会議開催状況……………14
写真 1-11	第 5 回会議開催状況……………14
写真 1-12	第 6 回会議開催状況……………15
写真 1-13	第 1 回懇話会開催状況……………15
写真 1-14	第 2 回懇話会開催状況……………15
写真 1-15	歴史を活かしたまちづくりシンポジウム ……16
写真 2-1	島根県芸術文化センター「グラントワ」 ……31
写真 2-2	益田市立雪舟の郷記念館……………33
写真 2-3	益田市立歴史民俗資料館……………33
写真 2-4	益田市立泰記念館……………33
写真 2-5	益田市立旧割元庄屋美濃地屋敷……………33
写真 2-6	新槇原遺跡……………37
写真 2-7	水田ノ上 A 遺跡……………37
写真 2-8	イセ遺跡……………37
写真 2-9	浜寄遺跡で見つかった水田跡……………38
写真 2-10	サガリ遺跡……………38
写真 2-11	中小路遺跡……………38
写真 2-12	羽場遺跡……………38
写真 2-13	下手遺跡……………38
写真 2-14	スクモ塚古墳から日本海を望む……………39
写真 2-15	小丸山古墳出土の金属製馬具……………39
写真 2-16	鶴の鼻古墳群出土の装飾品……………39
写真 2-17	「運歩色葉集の人丸の項」……………40
写真 2-18	「益田家文書」の益田兼見謙状……………41
写真 2-19	雪舟禅師像（市指定）……………41
写真 2-20	元和 4（1618）年前後作成の 「紙本著色石見国絵図」（一部抜粋）……………42
写真 2-21	明治頃の津和野町青原の高瀬舟……………45
写真 2-22	妙義寺観音堂より益田平野を望む……………45
写真 2-23	三宅御土居跡と七尾城跡を望む……………46
写真 2-24	中須東原遺跡を望む……………46
写真 3-1	<作成された調査カード（例）>……………52
写真 3-2	高津港の北前船……………65
写真 3-3	人形峠から望む人形岩と三生岩……………67
写真 3-4	柿本人麿像（柿本神社（高津町））……………67
写真 4-1	文化財防火デー……………79
写真 4-2	とちの実交流会……………79
写真 4-3	藁蛇神事への日原郷土史会の協力……………79
写真 5-1	大神ヶ嶽……………85
写真 5-2	表匹見峡・小沙夜淵……………85
写真 5-3	裏匹見峡……………85
写真 5-4	双川峡……………86
写真 5-5	飯浦海岸……………86
写真 5-6	木部の海岸……………86
写真 5-7	唐音の蛇岩……………86

写真 5-8	鑪崎及び松島の磁石石……………86
写真 5-9	金谷の城山桜……………86
写真 5-10	栃原の高野槇……………86
写真 5-11	広見の三本栃……………86
写真 5-12	若杉の天然杉……………86
写真 5-13	柿本神社の門前町（高津）……………87
写真 5-14	津田の漁村の景観……………87
写真 5-15	澄川の山村景観……………87
写真 5-16	高津川と飯田吊橋……………87
写真 5-17	漁り火……………87
写真 5-18	中河内の棚田……………87
写真 5-19	新槇原遺跡……………89
写真 5-20	山の恵み（トチの実）……………89
写真 5-21	中ノ坪遺跡……………89
写真 5-22	石ヶ坪遺跡……………90
写真 5-23	山崎遺跡で発見された土器埋設炉……………90
写真 5-24	安富王子台遺跡……………90
写真 5-25	若葉台遺跡の落とし穴の遺構……………90
写真 5-26	沖手遺跡の丸木舟……………90
写真 5-27	三宅御土居跡……………90
写真 5-28	本郷遺跡……………90
写真 5-29	酒屋原遺跡……………90
写真 5-30	水田ノ上遺跡出土の細形銅戈……………91
写真 5-31	中小路遺跡出土の石包丁……………91
写真 5-32	浜寄・地方遺跡の水田跡……………91
写真 5-33	大元古墳群……………92
写真 5-34	スクモ塚古墳……………92
写真 5-35	小丸山古墳……………92
写真 5-36	鶴の鼻古墳群……………93
写真 5-37	鶴の鼻古墳群……………93
写真 5-38	四塚山古墳出土の三角縁神獣鏡……………93
写真 5-39	北長迫横穴群……………93
写真 5-40	白上古墳……………93
写真 5-41	三谷古墳群……………93
写真 5-42	江田古墳……………93
写真 5-43	和田古墳……………93
写真 5-44	久城西 I 遺跡……………94
写真 5-45	浜寄・地方遺跡出土の土師器……………94
写真 5-46	本片子窯跡……………94
写真 5-47	都茂鉦山……………95
写真 5-48	安養寺……………95
写真 5-49	大年ノ元遺跡の堅穴建物跡……………95
写真 5-50	坑道跡……………96
写真 5-51	露頭掘り跡……………96
写真 5-52	山神社……………96
写真 5-53	中小路遺跡……………96
写真 5-54	酒屋原遺跡……………96
写真 5-55	下都茂原遺跡出土の緑釉陶器……………96
写真 5-56	養老滝……………97
写真 5-57	大境……………97
写真 5-58	額田部蘇堤売屋敷跡の碑……………97
写真 5-59	染羽天石勝神社本殿……………97
写真 5-60	櫛代賀姫神社本殿……………97
写真 5-61	佐毘売山神社……………97
写真 5-62	豊田神社……………97
写真 5-63	石塔寺権現……………97
写真 5-64	小野神社……………97
写真 5-65	東陽庵の薬師如来坐像……………98
写真 5-66	大喜庵の木造観音菩薩立像……………98
写真 5-67	妙義寺の十一面観音菩薩立像……………98

写真 5-68	七尾城跡：益田氏城館跡	100
写真 5-69	万福寺本堂	100
写真 5-70	医光寺総門	100
写真 5-71	三宅御土居跡：益田氏城館跡	100
写真 5-72	暁音寺鍵曲がり	100
写真 5-73	七尾城附妙義寺境内	100
写真 5-74	御神本国兼像	100
写真 5-75	益田兼見像	100
写真 5-76	益田宗兼像	100
写真 5-77	紙本著色益田兼堯像	101
写真 5-78	万福寺庭園	101
写真 5-79	医光寺庭園	101
写真 5-80	大喜庵	101
写真 5-81	乙吉大喜庵雪舟の墓	101
写真 5-82	雪舟灰塚	101
写真 5-83	紙本墨書原屋家文書	101
写真 5-84	出土銭貨	101
写真 5-85	横山城跡	101
写真 5-86	糸魚川産翡翠製褒玉	104
写真 5-87	陶製経筒五口	104
写真 5-88	沖手遺跡	104
写真 5-89	福王寺石造十三重塔	104
写真 5-90	東仙道土居遺跡出土陶磁器	104
写真 5-91	粟島原遺跡出土品	104
写真 5-92	中須東原遺跡	105
写真 5-93	中須東原遺跡	105
写真 5-94	絹本着色益田元祥像	105
写真 5-95	益田藤兼書状（三月二十日/杵築別火氏宛）	105
写真 5-96	再現された「中世の食」	105
写真 5-97	華南三彩壺	105
写真 5-98	中世今市船着場跡	106
写真 5-99	飯浦の港町	106
写真 5-100	ホーランエー	106
写真 5-101	美濃地の一里塚	107
写真 5-102	中島の藩境石（浜田藩）	107
写真 5-103	二条の藩境石	107
写真 5-104	山陰道鎌手峠の石畳	108
写真 5-105	山陰道遠田の石畳	108
写真 5-106	飯浦の港町	108
写真 5-107	蟠竜湖疎水	108
写真 5-108	右田本店	108
写真 5-109	芋塚（遠田）	108
写真 5-110	国東治兵衛頌徳碑	108
写真 5-111	高津の蠟座跡	108
写真 5-112	喜阿弥焼窯跡	108
写真 5-113	岸静江国治の墓及び扇原関門跡	109
写真 5-114	万福寺本堂に残る弾痕	109
写真 5-115	漕ぎの河原	109
写真 5-116	戸田柿本神社	110
写真 5-117	人麿御廟所	110
写真 5-118	人麿御童子像と付帯像	110
写真 5-119	鴨島遠望地	111
写真 5-120	松崎の碑	111
写真 5-121	教西寺の木造阿弥陀如来立像	111
写真 5-122	高津柿本神社本殿	111
写真 5-123	柿本神社御法楽御短冊	111
写真 5-124	大久保長安寄進の鉄灯籠	111
写真 5-125	高津の道標	111
写真 5-126	喜阿弥滑の道標	111

写真 5-127	土偶・玉類・土製品	114
写真 5-128	染羽天石勝神社の滝	114
写真 5-129	阿那観音	114
写真 5-130	絹本着色二河白道図	114
写真 5-131	絹本着色釈迦十六善神図	114
写真 5-132	阿弥陀如来立像	114
写真 5-133	水分経塚	114
写真 5-134	森ヶ谷塚遺跡の仏像と礫石経	114
写真 5-135	藁蛇神事	114
写真 5-136	水田ノ上遺跡の配石遺構	115
写真 5-137	中小路遺跡の土器棺墓	115
写真 5-138	南長迫横穴群	115
写真 5-139	鶴の鼻古墳群の副葬品	115
写真 5-140	東仙道土居遺跡出土石塔	115
写真 5-141	妙義寺桜谷五輪塔（伝益田藤兼の墓）	115
写真 5-142	夏山墓地	115
写真 5-143	熊祭り	115
写真 5-144	白上の祖霊社	115
写真 5-145	三葛神楽	117
写真 5-146	三葛神楽木彫面	117
写真 5-147	道川神楽	117
写真 5-148	三谷神楽	118
写真 5-149	丸茂神楽	118
写真 5-150	匹見神楽	118
写真 5-151	久城神楽舞	118
写真 5-152	神楽木彫面	118
写真 5-153	種神楽舞	118
写真 5-154	中垣内の廻り舞台	118
写真 5-155	中垣内の廻り舞台	118
写真 5-156	うつうた一座	118
写真 5-157	道川囃子田	119
写真 5-158	内谷囃子田	119
写真 5-159	土佐本田植哥草紙	119
写真 5-160	益田糸操り人形	119
写真 5-161	糸操り人形の頭および胴	119
写真 5-162	山本（加藤）三吉の墓	119
写真 5-163	笹倉八幡宮獅子頭	119
写真 5-164	板井川新宮神社獅子頭	119
写真 5-165	志賀団七踊り	120
写真 5-166	向横田節	120
写真 5-167	櫛代賀姫神社の神事	120
写真 5-168	都茂鉦山の絵図	122
写真 5-169	美濃地屋敷	122
写真 5-170	津島家金屋子文書	122
写真 5-171	大鳥たたら跡	122
写真 5-172	本谷山たたら跡	122
写真 5-173	馬谷城山鉦山の六方石	122
写真 5-174	小川家木地屋文書	122
写真 5-175	足踏み轆轤一式	122
写真 5-176	大久保広兼石州和紙資料館	122
写真 5-177	とち餅	123
写真 5-178	益田索道	123
写真 5-179	美都の柚子	123
写真 5-180	鶴飼い	123
写真 5-181	鮎つり	123
写真 5-182	ワサビ田	123
写真 5-183	剣先の堰堤	123
写真 5-184	水神の森	123
写真 5-185	匹見発電所本館	123
写真 5-186	高角橋	125

写真 5-187	中島の高津川旧河道……………	125
写真 5-188	「昭和の洪水未曾有の豪雨哀と潤を産む」の碑(二川)……………	125
写真 5-189	益田川災害復旧竣工記念碑……………	126
写真 5-190	58 水害時の水位の標示……………	126
写真 5-191	匹見町豪雪山村開発総合センター ……	126
写真 5-192	広見の集落跡の碑 ……	126
写真 5-193	「緑の工場」1500ha 達成記念 モニュメント(匹見)……………	126
写真 5-194	メイズ匹見……………	126
写真 5-195	夢ファクトリーみささ……………	127
写真 5-196	高島……………	127
写真 5-197	村おこし社……………	127
写真 6-1	七尾まつりの時代行列……………	133
写真 6-2	雪舟さんまつりの雪舟小僧さんによるみこし ……………	133
写真 6-3	柿本神社(高津)の八朔で行われる流鏑馬…	137
写真 6-4	匹見地区の民俗文化財を訪ねるウォーキング イベント ……	141
写真 6-5	清流高津川いかだ流し大会……………	143
写真 6-6	山陰道鎌手保存会が実施した山陰道ウォーク ……………	145
写真 7-1	東京益田会と益田市の懇談……………	149
写真 7-2	近畿益田会総会……………	149
写真 7-3	広島益田会総会……………	149
写真 7-4	日本遺産を目指す益田市民会議との連携 ……………	149
写真 7-5	国立歴史民俗博物館の共同研究の現地調査 ……………	152
写真 7-6	中世都市研究会益田大会平成 26(2014)年 ……………	145
写真 7-7	益田市の歴史文化を授業に取り入れる方法を 考えるワークショップ……………	146
写真 7-8	「わたしたちのまち発見事業」によるバスを 利用したまち歩き……………	154
写真 7-9	石見の戦国武将展……………	161
写真 7-10	中世の食から派生した島根県立石見美術館 のコレクション展とのコラボレーション企 画「中世益田を感じられる一品料理」 ……	149
写真 7-11	まわって集めよう！益田氏の武将カード ……………	164

写真提供

写真の掲載にあたっては、下記の所有者あるいは関係機関から写真の提供を受けています。

なお、下記に「●●所蔵」とあるものは、特に断りのない限り、益田市が撮影した写真を使用していることを表します。

写真 1-1	益田市立歴史民俗資料館
写真 1-4	『匹見町誌—現代編—』、匹見町誌編纂委員会、 2007 年。写真提供：山陰中央新報。
写真 1-6	国土地理院空中写真より益田市が作成
写真 2-9	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 2-17	京都大学付属図書館
写真 2-18	東京大学史料編纂所

写真 2-20	浜田市教育委員会
写真 2-21	津和野町教育委員会
写真 2-22	益田市立歴史民俗資料館
写真 5-25	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-26	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-32	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-44	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-45	島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
写真 5-65	東陽庵所蔵。写真提供：島根県立古代出雲歴史 博物館
写真 5-66	大喜庵所蔵
写真 5-67	妙義寺所蔵。写真提供：島根県立石見美術館
写真 5-75	万福寺所蔵
写真 5-76	医光寺所蔵
写真 5-83	個人蔵
写真 5-86	写真提供：島根県立古代出雲歴史博物館
写真 5-87	豊田神社所蔵。写真提供：島根県立古代出雲 歴史博物館
写真 5-94	島根県立石見美術館
写真 5-96	益田「中世の食」再現プロジェクト
写真 5-97	万福寺所蔵
写真 5-118	戸田柿本神社所蔵
写真 5-121	教西寺所蔵。写真提供：島根県立石見美術館
写真 5-123	高津柿本神社所蔵
写真 5-124	高津柿本神社所蔵
写真 5-130	万福寺所蔵
写真 5-131	泉光寺所蔵
写真 5-132	暁音寺所蔵。写真提供：島根県立石見美術館
写真 5-139	個人蔵
写真 5-159	個人蔵
写真 5-163	笹倉八幡宮所蔵。写真提供：島根県立古代出 雲歴史博物館
写真 5-164	板井川新宮神社
写真 5-168	個人蔵
写真 5-170	個人蔵
写真 5-174	個人蔵
写真 5-180	益田市立歴史民俗資料館
写真 5-192	『匹見町誌—現代編—』、匹見町誌編纂委員 会、2007 年。写真提供：山陰中央新報。
写真 7-9	島根県立石見美術館
写真 7-10	島根県立石見美術館